平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

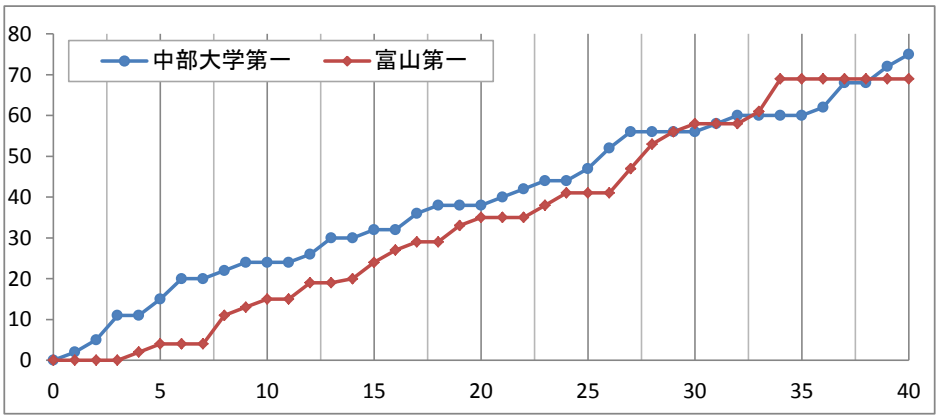
男子　1回戦

主審　渡邊　亮

副審　三瓶　吉人

中部大学第一	75	24 － 15 14 － 20 18 － 23 19 － 11 －	69	富山第一
（愛知）	○		●	（富山）

No. 29a3　　日時：2013年7月29日（月）12:50　　会場：べっぷアリーナ



中部大学第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	野中　達矢　(C)	－	－	－	－	－
5	栗原　堅	0	0	0	0	0
6	＊ 飯島　匡洋	15	3	3	0	4
7	髙橋　一希	6	0	3	0	2
8	＊ 毕　光昊	21	0	10	1	4
9	広沢　龍星	－	－	－	－	－
10	＊ 福岡　博貴	12	0	4	4	2
11	ビリシベ　実会	13	0	6	1	1
12	坂本　秀斗	－	－	－	－	－
13	＊ 遠藤　和希	3	0	1	1	1
14	＊ 中村　浩陸	5	0	2	1	3
15	戉　歌	0	0	0	0	1
コーチ	常田　健					
	合計	75	3	29	8	18

富山第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	藤井　直哉	13	4	0	1	3
5	廣谷　侑士	－	－	－	－	－
6	＊ 志摩　恭介	0	0	0	0	1
7	田中　勇希	－	－	－	－	－
8	山本　宗宏	－	－	－	－	－
9	溝口　時央	－	－	－	－	－
10	北川　楓之	6	0	3	0	2
11	＊ 水野　阿礼	4	0	2	0	1
12	吉田　雅志	－	－	－	－	－
13	＊ 安達　至　(C)	11	1	3	2	2
14	＊ 塚田　真矢	9	3	0	0	3
15	＊ 馬場　雄大	26	0	10	6	5
コーチ	馬場　敏春					
	合計	69	8	18	9	17

＊…スターター　(C)…キャプテン　3P…3点シュート　2P…2点シュート　FT…フリースロー　F…ファウル

戦　評

第1ピリオド、両チームハーフコートマンツーからスタート。立ち上がり中部大学第一は#10，#8のゴール下、#6のスリーポイントで得点を重ねていく。一方、富山第一はドライブからのジャンプシュートで応戦するが厳しいプレッシャーからなかなかシュートが決まらない。残り6分11－0で富山第一はたまらずタイムアウト。再開後、富山第一はディフェンスのプレッシャーを強めるが、中部大学第一は#8のゴール下で加点していく。一方、富山第一は#15のドライブを中心に得点し、24-15で第1ピリオドが終了。第2ピリオド、両者ハーフマンツーのままスタート。どちらのチームも早い展開から主導権を握ろうとする。一進一退の攻防が続く中、残り4分、富山第一は#14の3ポイントをきっかけに流れをつかんでいく。中部大学第一も#8のゴール下で突き放そうとするが、富山第一は#10のジャンプシュートや#15のダンクシュートで徐々に点差を詰めていき、38-35で2ピリオドが終了。
第3ピリオド、富山第一はハーフマンツー、中部大学第一は2-3ゾーンからスタート。中部大学第一#6、#10の連続得点で後半が始まる。富山第一は#4のアウトサイドシュートを中心に攻めていく。中部大学第一は#11のリバウンド、#14のドライブから得点していく。終盤、富山第一は#13、#14、#4の3連続3ポイントを決め、56－58富山第一2点リードで終了。第4ピリオド、中部大学第一はマンツーマンに戻す。富山第一は#4のアウトサイド、#15、#13のドライブで得点し、徐々に突き放しにかかる。残り6分、富山第一5点リードで中部大学第一がタイムアウトを取る。その後、互いに一歩も引かない展開が続く。残り3分30秒、中部大学第一は1-2-2のハーフコートのゾーンプレスで勝負に出る。#11のレイアップ、#8のゴール下で1点差に詰め寄り富山第一は2回目のタイムアウト。タイムアウト後も流れは変わらず、#8、#11の連続得点で中部大学第一が逆転勝利をおさめた。

記載者　野呂　雄一　（所属）大分県バスケットボール協会

Copyright(c) 2011 Yuzo Kosaka All Rights Reserved